

# 士別市水道事業 経営戦略改定【概要版】

## 1. 経営戦略改定の趣旨

経営戦略は、計画値と実績値の乖離を検証し、経営健全化の進捗管理を行うとともに、経営環境の変化に応じて効率的な事業経営を行うために定期的な見直しが必要です。

このたび、「第2次士別市まちづくり総合計画」の策定に合わせて水道事業の投資計画の見直しを行ったことから水道事業の経営戦略を改定します。

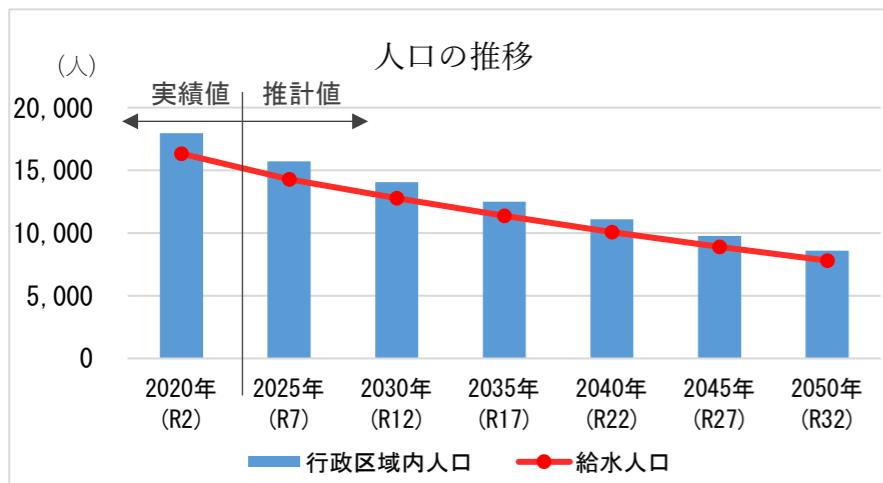
改定後の計画期間は令和8年度から17年度までの10年間です。

なお、下水道事業の経営戦略は、令和6年10月に策定し、投資計画に変更がないこともあり、今回は改定しません。

## 2. 経営上の課題

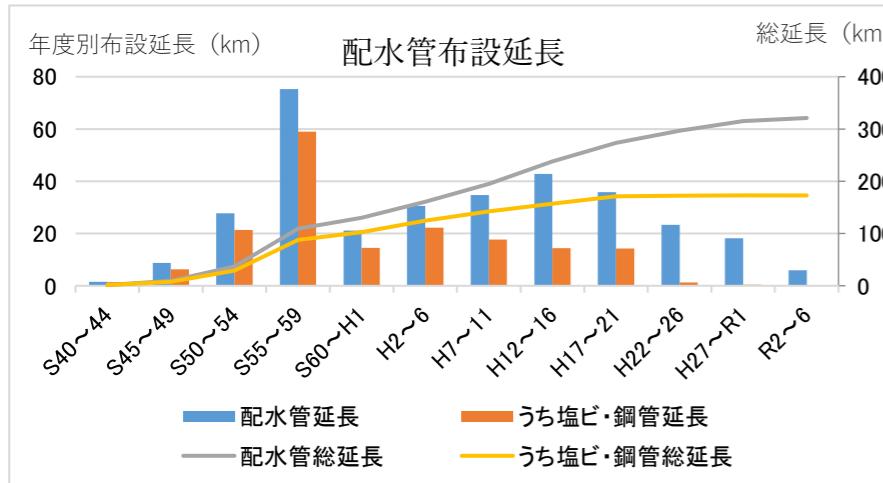
### ①給水人口の減少に起因する水需要の減少

- R17の給水人口は、R2と比べ約5,000人減少する見込み



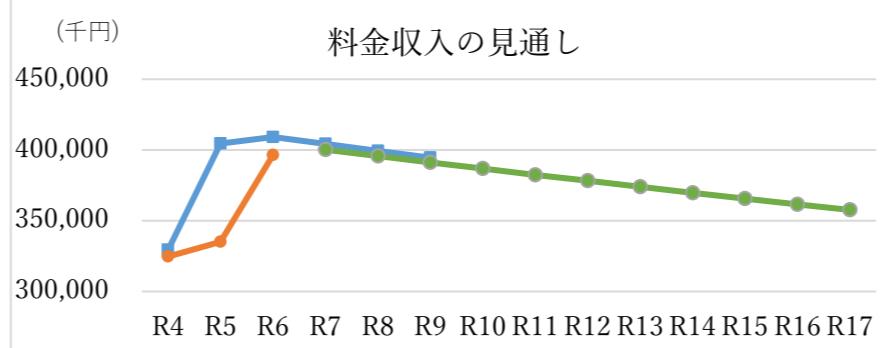
### ②配水管の老朽化

- 計画期間のR17には約半分の管路が耐用年数を経過する

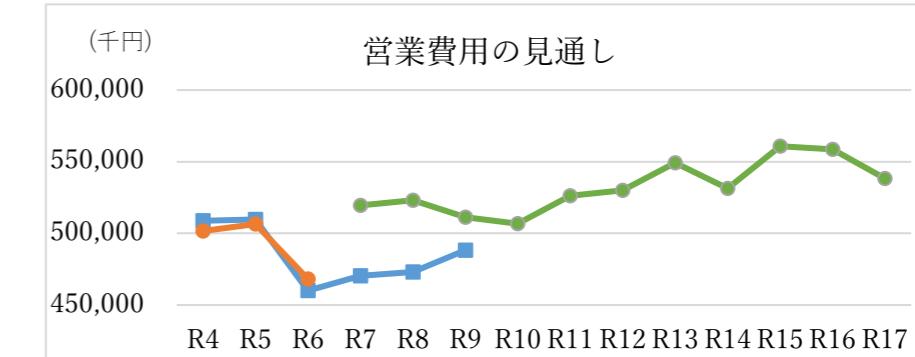


## 3. 経営の状況と今後の見通し

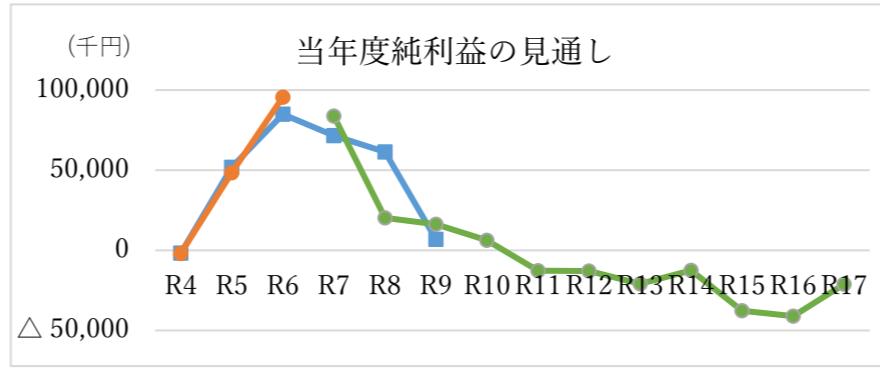
前計画 実績 新計画



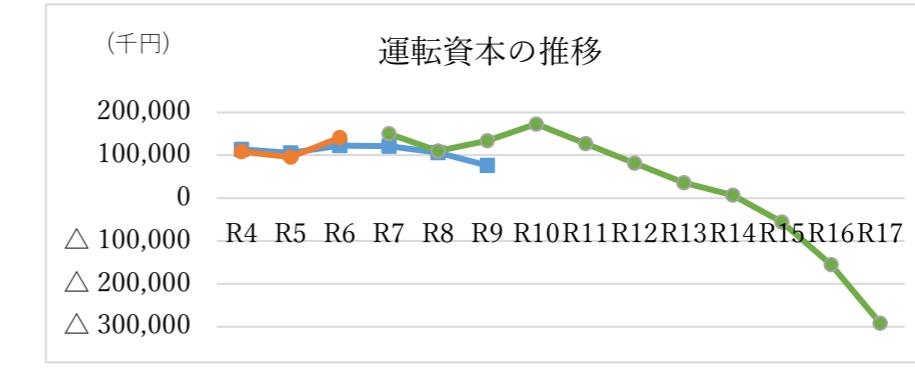
- R5まで水道料金の軽減を行ったことで計画と実績で大きな差が生じている
- 将来的には、人口の減少に伴い減少する見通し



- R7はスマートメーターの導入、R8は水道施設の更新計画を策定することで、前計画を上回る見込み
- 労務単価上昇や物価高騰等の影響で増加傾向となる見通し



- R6までの実績は、ほぼ計画どおり推移した
- R8は営業費用が増加することで前計画より悪化する見込み
- R11から当年度純損失が発生する見通し



- R9とR10は、資本費平準化債を借入れることで資金確保する
- R15末から運転資本がマイナスになる見込み
- 水道事業を運営していくために具体的な料金改定の検討が必要

## 4. 重要業績評価指標 (KPI)

| 業務指標                 | 前計画<br>作成時実績<br>R3年度末 | 本計画<br>作成時実績<br>R6年度末 | 前計画<br>目標値<br>R8年度末 | 見込み<br>R8年度末 | 新計画<br>短期目標値<br>R10年度末 | 新計画<br>目標値<br>R17年度末 |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|--------------|------------------------|----------------------|
| 年度末運転資本 (千円)         | 141,190               | 141,422               | 100,000             | 109,725      | 170,000                | 50,000               |
| 経常収支比率 (%)           | 94.99                 | 118.35                | 100.00              | 103.54       | 102.00                 | 110.00               |
| 企業債残高対<br>給水収益比率 (%) | 1,308.24              | 1,079.24              | 1,030.00            | 1,026.06     | 1,020.00               | 750.00               |
| 料金回収率 (%)            | 75.78                 | 98.56                 | 93.00               | 82.81        | 80.00                  | 85.00                |
| 有収率 (%)              | 81.74                 | 74.56                 | 83.00               | —            | 76.00                  | 78.00                |

